

トルコ共和国総領事来町
揖斐川でお茶摘み体験

5月16日(木)、桂茶生産組合(上南方)周辺の茶畑で、在名古屋トルコ共和国総領事館のダムラ・ギュミュシユカヤ総領事が、茶摘みを体験されました。

担当者から摘み方の指導を受けた後、岡部町長と一緒に実際に手で摘んだものを籠に入れた総領事は、「トルコ共和国では、はさみを使い収穫するが、手摘みは初めての経験。今後、総領事館が管轄する地域の様々な文化を知り、日本とトルコ共和国の交流を深めていきたい」と話しました。



▲お茶摘みを体験する総領事(左)

町特産品のいび茶とコラボ
「揖斐川抹茶びよりん」販売

5月11日(土)、JR名古屋駅で人気の「びよりん」と揖斐茶がコラボした「揖斐川抹茶びよりん」が、道の駅星のふる里ふじはしで限定販売されました。

この取組みは、町の合併20周年を記念して、揖斐川抹茶びよりんと通常びよりんの2羽1組をお祝いセットとして販売。当日は、販売開始3時間前から行列ができたはじめ、多くの来場者が買い求めました。

今後も様々な機会で、町の魅力を発信しPRに繋げていきます。



▲購入者へびよりんを手渡す岡部町長

FC岐阜ホームタウンデー

5月21日(火)、FC岐阜の宮田博之会長および柏木陽介クラブアンバサダーが岡部町長を表敬訪問しました。6月2日(日)に長良川競技場にて開催された揖斐川町ホームタウンデーの依頼と、これまでの活動報告をいただきました。

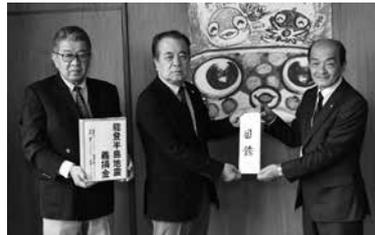
ホームタウンデー当日には、試合会場でのPRや特産品の販売などを行い、来場された大勢のサポーターの皆さんへ揖斐川町の魅力を発信しました。



▲表敬訪問の様子
FC岐阜 宮田会長(右)、
柏木クラブアンバサダー(左)

能登半島地震義援金

4月26日(金)、揖斐川ライオンズクラブ様より、能登半島地震災害義援金として総額61,091円をお預かりしました。この義援金は日本赤十字社を通じて、被災地に送られます。



▲義援金贈呈式の様子
揖斐川ライオンズクラブ
久保田一成ゾーンチェアパーソン(中央)
山本直人ゾーンチェアパーソン
アシスタント(左)

5月9日(木)、IBIGAWA HANAMOMO BASE実行委員会様より、能登半島地震災害義援金として総額113,711円をお預かりしました。この義援金は日本赤十字社を通じて、被災地に送られます。



▲FC岐阜の選手へ特産品パネルを渡す
岡部町長



▲義援金贈呈式の様子
IBIGAWA HANAMOMO BASE
実行委員会
西川可菜美代表(中央右)
西川寿延副代表(右)
柴田哲也副代表(左)